

第3回盛岡地区新設高等学校統合検討委員会 議事録

期 日 令和4年11月16日(水)
時 間 午後1時30分～午後2時55分
会 場 不来方高等学校 第一会議室

1 開会 (不来方高校副校長 菊池由美子)

2 委員長あいさつ (不来方高校校長 清川義彦)

- ・設置学科・学系案と校名案の協議を行う。
- ・県民の注目も高い内容であり、委員の方には忌憚のないご意見を賜りたい。

3 委嘱 (学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男)

矢巾町教育委員会教育長の交代に伴い、県教育委員会が菊池広親氏に委員を委嘱。

4 報告 (進行 委員長 清川義彦)

(1) 統合課題検討小委員会 (盛岡南高校副校長 村山薫美)

- ・資料を読み上げて報告。質問なし。

(2) 教育内容検討小委員会 (不来方高校副校長 菊池由美子)

- ・資料を読み上げて報告。質問なし。

5 協議 (進行 委員長 清川義彦)

(1) 設置学科・学系(案)について (不来方高校副校長 菊池由美子)

- ・資料を読み上げて説明

(石川委員) 普通科8クラスのA案とした場合、体育コースの2クラスは、年度ごとのクラス替えを必ず行うのか。

<回答>(不来方高校菊池副校長) A案ではクラス替えが可能になるということである。

学年や生徒の状況等によって、クラス替えを実施するか否かを検討することになる。

(石川委員) A案では2年次にコースを選択することになるが、クラス替えは3年次でも行うことができるのか。

<回答>(不来方高校菊池副校長) 生徒の志望により、各コース人数が40人ずつになるとは限らず、2年次からクラスの中で両コースの生徒が混在していることも考えられる。そのため、3年次でクラス替えを行うことになったとしても、特に問題ないと考えている。

(工藤代理) 体育系の生徒へのアンケートでは、トップアスリートを目指したいと考える生徒はどのくらいいたのか。また、トップアスリート以外を目指したいと考える生徒はどのくらいいたのか。

<回答>(盛岡南高校川戸副校長) アンケートでは、中学生のときに高校卒業後の進路をどう考えていたかを調査した。卒業後もアスリートを目指したいと考えている生徒は若干名と予想より少なかった。スポーツに関する知識を活かし大学生や社会人

になりたいと考えている生徒が最も多く、次にスポーツに関することにかかわらず大学生や社会人になりたいと考えている生徒が多かった。具体的な人数は精査した後報告する。

(浅沼委員) A案がよい。現場の先生方の考えが反映されているのでそれを尊重したい。今回の統合は地域の期待も大きく、統合後は部活動の優勝旗が両方の高校を足したくらいの数であるべきだ。体育科のブランドアピールを使わないのであれば、特色ある普通科の内容を中学生にしっかり説明する必要がある。他校の普通科に飲み込まれないことが大切である。

(石川委員) 中学校で生徒を指導する立場からA案が現実的であると考え、賛成する。発達段階を考えると、中学3年生で高校卒業後までの進路を決定することは難しいので、高校入学後に選べるほうがよい。

(女鹿委員) 中学生を持つ保護者の立場からもA案に賛成する。中学校のうちに長期的視野で進路を決めることは難しい。A案は高校入学後に明確な進路を決めることができる点が良い。中学生が行きたいと思えるスクール・ポリシーを作っていただきたい。

(菊池(広)委員) 資料6ページにおいて、矢印が多い方が進路の多様性を表していることでよいか。また、先ほどのアンケート結果から、高校入学時点で生徒が自身の進路を明確化することは難しいということによいか。併せて、A案とした場合、アスリートコース(仮)を選択する生徒がいないということも考えられるのか。

<回答>(不来方高校菊池副校長) 矢印が多い方が生徒の卒業後の進路に対する多様なニーズや希望に添えるということを表している。またアンケート結果より、高校入学時点で明確に進路の展望を持つことができている生徒は少ないと事務局では分析している。盛岡南高校、不来方高校両校の現状から見て、新設校のアスリートコース(仮)に進む生徒がいないということは想定しにくいですが、仮にいなかった場合でも対応できる。

(菊池(広)委員) 仮に選択する生徒がなかった場合でも、学びの保証ができることが重要である。

(委員長) A案を推す意見が多いが、B案を推す意見はないか。

[発言者なし]

(委員長) A案の承認を求める。

[A案が承認される]

(2)校名候補(案)について(盛岡南高校副校長 村山薫美)

- ・趣旨およびスケジュール説明(安齊学校教育室特命参事兼高校改革課長)

校名は県議会の条例改正で決定するが、この委員会ではその候補をあげてもらいたい。可能な限り順位をつけていただくとありがたい。今回の統合検討委員会で校名案候補が決まった場合、その後県教育委員会で協議して一つの案に絞り、次回の統合検討委員会で報告する。

- ・資料を読み上げて説明(盛岡南高校村山副校長)

- (工藤委員) 校名案として4つ資料にあげられているが、校名は多数決で決まるのか。
- <回答>(盛岡南高校村山副校長) 小委員会としては、資料にある4つの候補案すべてを県教委に提出したいと考えている。
- (菊池(広)委員) 検討委員会から提案された校名案候補以外の校名になる可能性はあるのか。
- <回答>(学校教育室安齊高校改革課長) 可能性はあるが、県教育委員会としては統合検討委員会の結論を重く受け止めている。順位付けはして欲しいが、どの案になってもよいものを選んで欲しい。過去の統合では、提出される候補以外の校名がついた例はこれまで確認されていない。
- (菊池(広)委員) 有識者の意見を聞いて決めることはあるのか。また新設校の目指す姿や込めたい思いが見えてくると協議がしやすい。
- <回答>(学校教育室安齊高校改革課長) 有識者を交えての検討の場は想定していない。統合新設校の姿やあり方は両校の関係者でつくりあげることが基本にあり、そのための統合検討委員会である。
- (浅沼委員) 「南昌みらい」は漢字表記の「南昌未来」であれば、盛岡南高校の「南」、不来方高校の「来」、両校の校名の一部が入るのでよい。「南昌未来」を提案する。さらに、「南昌」の「昌」を「翔」に変える方がよい。
- <説明>(盛岡南高校村山副校長) 「翔」については県内に北上翔南高校があり、「翔南」を入れ替えると「南翔」となり似たものになるので、小委員会では「南翔」を避けた経緯がある。
- (工藤委員) 18案から4案を選定しているが、これらは、応募されたものを参考にして小委員会の委員が案を作成し、検討したという理解でよいか。
- <回答>(盛岡南高校村山副校長) 応募された159案から各委員が18案に絞り、最終的に4案を提案した。
- (工藤委員) 各校名案について、その想いを知りたい。
- <回答>(盛岡南高校村山副校長) 資料に基づいて説明。「みらい」については漢字やカタカナ表記も含めて多数の応募があった。「森が丘」は、中学生と思われる10代からの応募が複数あった。
- (工藤委員) 「南昌未来」が良いと思う。「森が丘」も若い世代の案だと説明があったが、これも捨てがたい。
- (菊池委員) C案の「みらい」をひらがなにした理由は何か。
- <回答>(盛岡南高校村山副校長) 今後高校進学を考える中学生が入学したい学校名にしたい、中学生より下の世代も含めた様々な年代の地域住民に親しまれる校名にしたいという考えから、ひらがな表記にした。
- (菊池委員) 「南昌未来」なら、「南昌山」と「盛岡南」と「不来方」、それぞれの一部が漢字として入っているので良いと思う。
- (伊藤委員) C案そのままがよい。「翔」をつかうと岩手のどこにあるのか分からないので、シンボルとして「南昌山」の「南昌」をそのまま校名に残す方がよい。また、中学生から親しまれるということを考えるなら「みらい」はひらがなでよい。

(浅沼委員) 先ほど「南翔」の意見を出したが、北上翔南高校があるので取り下げる。盛岡南高校と不来方高校の文字を残したいことから、「南昌未来」を推したい。菊地委員と同じ意見である。

(委員長) C案のひらがな表記と漢字表記を含め、A案からD案全てを案として報告することを提案。

[資料の4案が承認される]

(石川委員) 順位づけについては、全員から意見を取ったほうがよいと思う。

<回答>(清川委員長) 了承する。

(工藤代理) 盛岡市教育長からは、理由も含めD案の「森が丘」が良いとの意見を承っている。

(菊池(広)委員) C案の「南昌みらい」もしくは「南昌未来」を第一とし、D案の「森が丘」を次としたい。A案とB案は議論していないので同順位が適当だと思う。

(石川委員) 「森が丘」を推したいが他県に類似の学校はないのか。「森が丘」の「森」は「杜」と、「丘」は「岡」と、様々な漢字表記が考えられる。校名は見てすぐにわかる、かつ読みやすいことが大切だ。「森が丘」の表記に込められた思いを聞きたい。

<回答>(盛岡南高校村山副校長) 小委員会で調査した範囲内では、「森が丘」という高校名は無かった。「ヶ丘」「ヶ丘」がつく高校は全国で数十校ある。「丘」は親しみやすさという点で、「が」は親しみやすさと書きやすさの点から提案している。

(石川委員) そういったことであれば、D案「森が丘」を推す。

(伊藤委員) 南昌山のふところにある学校ということでC案の「南昌未来」がいい。D案の「森が丘」を次としたい。

(工藤委員) C案、D案、A・B案の順と考える。D案「森が丘」も良いが、盛岡第一高校等「盛岡」が校名につく学校も多く、混同される可能性がある。

(女鹿委員) C案を1位としたい。漢字「未来」かひらがな「みらい」かは一任する。次はD案がよい。

(菊地委員) C案が良い。漢字「未来」かひらがな「みらい」かは一任する。D案は「盛岡」「矢巾」を入れることは慎重に進めるという主な考え方からすると、「森が丘」と「盛岡」は限りなく響きが近く、推すことはできない。

(沢田委員) C案が良い。次に、両校の校歌から採ったということで、A案としたい。

(浅沼委員) C案が良い。「みらい」の表記は、両校校名の一部を取り、漢字がよい。

(小岩委員) 「未来」はプラス思考で良い。漢字表記の「未来」を使用したC案が良い。

(委員長) ひらがな表記と漢字表記を含めたC案を第一、D案を第二、A案を第三、B案を第四の順で県教育委員会に提案することでよいか。

[承認される]

(委員長) 県教育委員会に提出する選考理由は委員長の一存でよいか。

[承認される]

(3) その他

議案なし

6 その他

- ・(盛岡南高校川戸副校長) 体育系生徒へのアンケートに関する補足説明。
- ・(不来方高校菊池副校長) 第4回統合委員会の検討内容について確認。第4回統合委員会の日程確認。

※午後2時55分終了